

令和 7 年度 一般財団法人どうぶつ福祉 a-hands 事業報告書

(2025 年 5 月 1 日から 2026 年 4 月 30 日)

1. 事業活動の概要に関する事項

(1) 人と動物とのより良い共生社会を構築するための事業

(1) - 1 保護動物の譲渡支援活動事業

(1) - 1 - 1

ホームページを制作・保守・運用し、インターネット上にて保護動物の譲渡支援を行う事業

- ① 動物病院での譲渡を促進し、譲渡後の報告もホームページ上に発信し、保護動物譲渡の普及啓発を行うために、財団ホームページを制作、同サイト上にマッチングコンテンツを掲載し、第二期より運用しているが、今期も引き続き運用を行った。また、マッチングコンテンツの利用者（動物病院、里親希望者など）を増やすために、広報活動として SNS での情報発信を積極的に行った。
- ② 協力動物病院を募集し、今期は 10 病院が新たに追加され、2026 年 4 月 30 日までに計 87 病院が登録された。また、今期は当該協力動物病院の保護動物 15 頭が当サイトに掲載され、その内 5 頭が当マッチングサイト経由で譲渡された。
- ③ 財団ホームページ上に、保護動物の譲渡活動への賛助を呼びかけ、寄付金を募り、寄付手順を説明するコンテンツを制作、第二期より運用しているが、今期も引き続き運用を行った。
- ④ ホームページの利用者を増やし、視認性や操作性の向上のために、今期も引き続き各ページの改修（見出しレイアウトと内部構成の統一化）と SEO 対策を行った。SEO 対策としては、月に 1 度のアクセス分析と検索キーワード分析を行い、分析結果に合わせたキーワードをサイト内テキスト文に入れるなどの改修を行った。その結果、検索ワードの表示に関して上位 10 位以内に入り、継続している。

(1) - 1 - 2

当法人の協力動物病院を支援する事業

- ① 第三期にて募った寄付金を当法人の協力動物病院に保護動物保護譲渡の運営補助費として使用できるチケットとして 2024 年 8 月 1 日より配布を開始しているが、今期も継続して 4 カ月ごとに 3 回、チケット配布を行った。（今期は 6 病院に計 180,000 円の補助金を分配。）

(1) - 2 動物福祉の普及啓発事業

広報に力を入れ、動物福祉思想の普及と動物関連団体との連携、里親探し、譲渡

のあつせんを効率的に行う事業

- ① 財団ホームページ上に、財団の活動報告を定期的に投稿している。(1 ヶ月に平均 6 記事を投稿。)
- ② SNS (Facebook・Instagram・YouTube) に、財団の活動や協力動物病院の保護動物を定期的に投稿した。(Facebook 47 投稿、Instagram 65 投稿、YouTube(ショート動画) 20 投稿。)
- ③ 飼い主向けブログページと、保護動物に関する情報発信を行うための獣医師向けブログページに、ブログを定期的に投稿した。(飼い主向けブログページ 6 投稿、獣医師向けブログページ 14 投稿。)
- ④ 雑誌の取材などの対応
 - ・「保護動物の行動学～困った事例をもとに元野犬編～」をテーマに、入交獣医師に取材し執筆を行った。(NJK 誌の特別寄稿 2025 年 6 月号に掲載。)
 - ・2025 年 7 月 16 日に、動物福祉という観点から保護犬や保護猫の譲渡とはどうあるべきかについて、毎日新聞記者(田中氏)の取材対応を行った。(毎日新聞記者 24 人が担当するコラム「24 色のペン」コーナーに掲載。)
 - ・2026 年 2 月 6 日に、獣医師が見守る保護・譲渡活動や高齢者の動物飼育について、NPO 法人ペットライフネット代表吉本氏の取材対応を行った。(わんにゃお通信 vol.18 (2026 年春号)に掲載。)
- ⑤ 当財団ホームページ上に、動物福祉の普及啓発のための協賛を呼びかけ、活動応援団体の募集活動を行った。(今期は 4 企業より活動応援団体の更新をいただいた。合計 60,000 円。)
- ⑥ 2024 年 11 月から渋谷クロス FM「花村学園へようこそ」ラジオのスポンサーとなっているが、今期も引き続き、2 週間に一度動画を作成し、ラジオにて動物を飼うために役立つ情報の提供を行った。(計 21 動画作成、配信。)
- また、宮下理事長が 1 回・白永副理事長が 1 回、同番組に生出演し、財団と財団の活動について広報を行った。
- ⑦ 保護・譲渡活動を広げるための可能性を検討するために、猫カフェの調査を行った。(東京近郊の様々な形態の猫カフェ、計 7 か所を調査。報告書を報告済み。)

(1)-3 保護どうぶつ研究会の運営

保護どうぶつに関する獣医療学的知見や社会的動向を報告、共有するための研究会を発足し、講習会などを開催する事業

- ① 2023 年 12 月 25 日に保護どうぶつ研究会オンライン・コミュニティをオープンし運営しているが、今期は獣医師によるコラムを合計 19 回投稿、また、当法人の活動についても定期的に投稿し、研究会の会員に情報発信を行った。(今期は 20 名が新たに会員となり、2026 年 4 月 30 日現在、計 47 名が研究会に参加。)
- ② 保護動物に関する獣医療学的知見や社会的動向を報告、共有するための研究会(講習会)の開催
 - ・2025 年 6 月 22 日(日)に第 5 回保護どうぶつ研究会「多頭飼育の裏にある社会問題とは～環境・感染症・災害時のリスクを考える～」を開催(リアル開催)。講師は獣医師の佐伯潤先生、35 名参加。
 - ・2025 年 11 月 23 日(日)に第 6 回保護どうぶつ研究会「保護猫に学ぶ行動

【資料 1－①】

学～臨床現場での事例と解決への Tips～」を開催（リアル開催）。
講師は獣医師の入交眞巳先生、31 名参加。

2. 資産運用

- ① 当法人の活動に活用するための資金調達を目的とし、第三期一月より財団資金（約 1.5 億円）を野村証券口座にて有価証券を購入し運用を開始したが、今期も引き続き運用を継続している。
- ② 当法人の活動に活用するための資金調達を目的とし、株式会社 m-hands へ財産貸与を行った。（2025 年 9 月 1 日に 1 千万円貸付、年利 1.3 % で 15 年間（180 回）返済予定。）
- ③ 当法人の活動に活用するための資金調達を目的とし、当財団資金を有効活用するため、第四期九月より、財団資金（約 3,000 万円）を野村証券口座に追加し、有価証券を購入して運用を開始した。（2-①、2-③の投資合計金額は約 1.8 億円。）

3. 運営組織の状況に関する事項

（1） 理事会

日時	場所	決議を行使した理事数	決議内容
2025 年 7 月 29 日 20:45-21:35	Zoom に よる オンライン 開催	理事 3 名	1. R7 年定時評議員会の招集可決 2. 令和 6 年度（第 3 期）事業報告、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書、財産目録、監査報告書の承認可決 3. 令和 7 年度（第 4 期）事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みの承認可決 4. 財団財産貸与の承認可決 5. 第五回保護どうぶつ研究会の開催報告 6. 財団財産の投資の経過報告 7. 第六回保護どうぶつ研究会の開催についての報告 8. 医療チケット制度の説明と今後の広報に関する報告
2025 年 8 月 30 日	書面による 決議	理事 4 名 監事 1 名	1. 評議員会の招集可決 2. 財団財産の追加投資の承認可決

【資料 1－①】

(2) 評議員会

日時	場所	決議を行使 した評議員数	決議内容
2025 年 7 月 29 日 20:45-21:35	Zoom に よる オンライン 開催	評議員 3 名	1. 令和 6 年度（第 3 期）事業報告、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書、財産目録、監査報告書の承認可決 2. 令和 7 年度（第 4 期）事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みの承認可決 3. 財団財産貸与の承認可決 4. 第五回保護どうぶつ研究会の開催報告 5. 財団財産の投資の経過報告 6. 第六回保護どうぶつ研究会の開催についての報告 7. 医療チケット制度の説明と今後の広報に関する報告
2025 年 9 月 5 日	書面による 決議	評議員 3 名	1. 財団財産の追加投資の承認可決

附 属 明 細 書

令和 7 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上